

# 主な人権課題【子ども】

1989年に国連で採択され、1994年にわが国が批准した「児童の権利に関する条約」は、子どもの人権や自由を尊重し、保護と援助を進めることを目的としています。しかし、現実には、世界中で貧困や飢え、犯罪や戦争等で苦しんでいる子どもたちがたくさんいます。

わが国においては、本来子どもの人権や自由が保障され、必要な保護と教育が十分に受けられる体制が整えられているはずですが、ところが実際には、子どもの人権が守られていない多くの事例があります。特に問題となっていることを挙げてみますと、①いじめ②虐待・ネグレクト(養育放棄)③体罰④貧困⑤児童買春・児童ポルノなどがあります。さらに待機児童の問題なども、子どもの人権に関わることでと言えましょう。

最近のいじめは多様化が進んでおり、いじめにスマートフォン等が使われる事例も増え、より実態が見えにくくなっています。ささいな行為から命に関わるような危険な行為へつながる事例も起きています。また、本来であればいじめをな

くす立場であるはずの教師による同僚教師へのいじめが発生するなど、強い憤りを覚えるような事件も起きています。いじめ防止対策推進法などの法律も施行されていますが、範となるべき大人社会のあり方が問われているのではないのでしょうか。

虐待や体罰が、実際に受けた身体的な被害だけではなく、子どもの心の成長にも深刻な悪影響を及ぼす場合があります。暴力は力による解決を助長し、いじめや暴力行為等の土壌を生むおそれがあります。「しつけ」と称する親の体罰等を暴力として禁止する法整備も行われています。

貧困問題は一般的に考えられている以上に深刻で、今の日本では、およそ6軒に1軒が貧困家庭だと言われています。親が仕事などで外に行っている間、弟や妹の面倒を見るために、学校へ行きたくても行けないという事例も発生しており、セーフティネットの充実が求められています。

児童を対象とした性犯罪においても、児童ポルノ禁止法などの法律が整備されていますが、依然としてインターネット

ト上での児童ポルノの氾濫等、児童の商業的性的搾取の問題も深刻になっています。

子どもを取り巻くそれぞれの人権侵害の問題に対しては、法律の整備が進められていますが、実際問題として、子どもの健全な育成には、保護者だけでなく地域社会の役割も欠かせません。子どもが安心して暮らすことができる「学童保育」や「児童館」、「放課後子ども教室」はもとより、「子ども見守り隊」や「子ども食堂」、「子どもの人権110番」による相談活動など、子どもの安全や健やかな成長を願う取組も広がってきています。

加えて、子どもの人権に関する啓発活動も、より一層の充実が求められています。「子どもは国(社会)の宝である」という言葉があります。その宝を慈しみ守り育てることが、大人や社会の責務ではないのでしょうか。

(参考資料：法務省人権擁護局「人権の擁護」)

市人権推進課(教育庁舎1階)  
TEL 32・2122  
FAX 33・3525  
Mail:jinkensuisshin@city.komatsushima.tokushima.jp

## 市民文芸 花みずき歌壇 (367) 松並敦子・選

指一本怪我しただけで不便なり十本もあるのに不思議なものよ  
田浦町 太田カツミ

残されし洗濯物の一枚が妖怪となる冬の夕暮れ  
立江町 湯浅かや子

久々の遠出と郵便局まで行けば窓口の職員見知らぬ人ばかり  
横須町 三宅 敏恵

縄飛びを二百四十飛んだよと一年生の曾孫自信たっぷり  
赤石町 田原トシ子

「ばあちゃんのパン美味しい」と娘や孫に言われて今日もエプロン結ぶ  
横須町 福島 夢栄

暖冬のせいかも知れぬ花桃は立春にもう三分咲きいる  
櫛渕町 松下 玉枝

如月の青空嬉し日だまりのベチュニア満開プランター並び  
坂野町 橋本千代乃

四万十川の源流探す番組に息のむ思ひす憧れの場所  
江田町 深田 伴子

「難を転ずる」と亡母が植えたる南天の赤き実に向き合掌す  
田浦町 西 教明

年下のおもわぬ人の計の知らせくおれており厨の床に  
横須町 山崎 泰子